

- (8) 薬剤名称カフィールド
薬剤一覧スプレッドの表示列とする。
検索条件に該当する薬剤マスタの名称カフィールドを表示する。
- (9) 処方量フィールド
薬剤一覧スプレッドの表示列とする。
検索条件に該当する薬剤マスタの処方量(1日分)フィールドを表示する。
- (10) 単位フィールド
薬剤一覧スプレッドの表示列とする。
検索条件に該当する薬剤マスタの単位コードフィールドから単位マスタの単位名称フィールドの値を表示する。
- (11) 有効期間フィールド
薬剤一覧スプレッドの表示列とする。
検索条件に該当する薬剤マスタの有効期間開始日/終了日を「yyyy/mm/dd ~ yyyy/mm/dd」の形式で表示する。
- (12) 有効フラグフィールド
薬剤一覧スプレッドの表示列とする。
検索条件に該当する薬剤マスタの有効フラグフィールドを「有効/無効」で表示する。
- (13) 検索ボタン
検索条件をもとに薬剤マスタを検索する。
該当データが存在する場合は薬剤一覧スプレッドに展開する。該当データが存在しない場合はメッセージを表示する。
検索時、各検索項目間は AND 検索とし、絞り込み検索が出来るようにする。
- (14) 新規ボタン
編集タブに移動し、薬剤情報の新規入力状態とする。
- (15) クリアボタン
検索条件、薬剤一覧スプレッドをクリアし、初期状態に戻す。
検索条件の有効期間が本日以降のみ表示はチェックされた状態とし、有効フラグは、「有効」を選択した状態とする。
- (16) 選択ボタン
編集タブに移動し、薬剤一覧スプレッドで選択した薬剤の情報を編集状態とする。
- (17) コピーボタン
編集タブに移動し、薬剤一覧スプレッドで選択した薬剤のコピー情報を編集状態とする。
既存薬剤の新規有効期間を登録する場合に使用する。

(18) 閉じるボタン

薬剤マスタ画面を閉じる。

【ドクター側管理システムの各画面について：薬剤情報修正画面】

薬剤マスタ情報を編集する為の画面を提供する。操作は薬剤情報を入力後、登録ボタンをクリックにより、薬剤情報の修正を行う。

新規ボタンをクリックにより、薬剤情報の新規入力ができる。薬剤情報入力後、登録ボタンをクリックにより、薬剤情報の新規登録を行う。

コピーボタンをクリックにより、選択薬剤情報が表示され、有効期間を変更後に登録ボタンをクリックにより、薬剤情報のコピー登録を行う。

削除ボタンをクリックにより、表示中の薬剤情報を削除することが出来る。

(画面サンプル)

システム(E) 問診(Q) マスタ(M)

患者番号 氏名 漢方診療科
生年月日 年齢 性別 漢方 一朗

新規 削除 登録 閉じる

薬剤マスタ

一覧 編集 組込

修正

薬剤コード

有効期間 2012年 02月 23日 ~ 2098年 12月 31日

薬剤名称 安中散料

薬剤名称か アチカクカク

単位 088) g

処方量 (1日分)

厚生省コード

有効フラグ 1) 有効

『データ画面出力方法仕様について』

一覧タブで薬剤情報を選択/コピーした場合、該当する薬剤情報を設定した状態で表示し、画面上部に「修正/コピー」を表示する。

総合薬剤マスタからの組込登録薬剤でない場合、画面上部に「※ユーザー登録薬剤」を表示する。

一覧タブで薬剤情報を選択していない場合、全ての入力欄をクリアした状態で表示し、画面上部に「新規」を表示する。

画面サイズは固定とし、サイズ変更は不可とする。

初期表示位置は、メニュー画面の下部に表示される位置を固定表示位置とする。

(1) 薬剤コードフィールド (必須項目)

薬剤コードを表示/入力する。

薬剤マスタの薬剤コードフィールドより表示/登録する。

新規モード時、既存の薬剤コード以外を入力する。

新規・修正・コピーモードに関わらず既存の薬剤コードを入力すると、ロストフォーカス時に既存の薬剤情報の表示に置き換えるか問い合わせメッセージを表示する。

置き換える場合は入力した薬剤コードの修正モードとなり、薬剤情報を表示する。置き換えない場合はモードをそのまま元の薬剤コードに戻す。

修正・コピーモード時、薬剤コードは変更不可状態とする。

(2) 有効期間開始日フィールド (必須項目)

有効期間開始日を表示/入力する。

薬剤マスタの有効期間開始日フィールドより表示/登録する。

(3) 有効期間終了日フィールド

有効期間終了日を表示/入力する。

薬剤マスタの有効期間終了日フィールドより表示/登録する。

(4) 薬剤名称フィールド (必須項目)

薬剤名称を表示/入力する。

薬剤マスタの名称フィールドより表示/登録する。

(5) 薬剤名称カナフィールド

薬剤名称カナを表示/入力する。

薬剤マスタの名称カナフィールドより表示/登録する。

(6) 単位コンボボックス (必須項目)

単位をコンボボックスに表示/選択する。

薬剤マスタの単位コードフィールドより、単位マスタの名称フィールドを表示/登録する。

コンボボックスには薬剤マスタの単位コードフィールド+「) 」+単位マスタの名称フィールドを設定する。

(7) 処方量(1日分)フィールド

処方量(1日分)を表示/入力する。

薬剤マスタの処方量(1日分)フィールドより表示/登録する。

(8) 厚生省コードフィールド

厚生省コードを表示/入力する。

薬剤マスタの薬価基準コードフィールドより表示／登録する。

(9) 有効フラグコンボボックス（必須項目）

有効フラグをコンボボックスに表示／選択する。

薬剤マスタの有効フラグフィールドを表示／登録する。

コンボボックスには薬剤マスタの有効フラグフィールド+「) 」+「有効」のように設定する。

(10) 新規ボタン

薬剤情報の新規入力状態とする。

(11) 削除ボタン

表示中の薬剤情報を削除する。

表示中の薬剤に該当する薬剤履歴データが存在する場合はメッセージを表示し、削除不可とする。

(12) 登録ボタン

新規入力、又は薬剤情報の修正後に、薬剤マスタに対する登録処理を行う。

※登録処理前に以下のチェックを行う。

必須チェック：必須フィールドは薬剤コード、有効期間、薬剤名称、単位、有効フラグ

有効期間チェック：同一薬剤で重複した有効期間は登録不可

総合薬剤マスタ存在チェック：新規時、総合薬剤マスタに存在する薬剤は登録不可

(13) 閉じるボタン

薬剤マスタ画面を閉じる。

【ドクター側管理システムの各画面について：薬剤情報組込画面】

総合薬剤マスタを一覧表示し、選択した薬剤を薬剤マスタに組込登録する為の画面を提供する。操作は検索条件を入力後、検索ボタンクリックにより、条件に該当する薬剤情報を表示する。

選択ボタンクリックにより、薬剤を選択（複数可）し登録ボタンクリックにより、組込登録を行うことが出来る。

クリアボタンクリックにより、検索条件・一覧をクリアすることが出来る。

(画面サンプル)



『データ画面出力方法仕様について』

検索条件、一覧をクリアした状態で表示する。

登録時の有効期間開始日はサーバ日付を初期表示する。

初期フォーカスは薬剤コードとする。

画面サイズは固定とし、サイズ変更は不可とする。

初期表示位置は、メニュー画面の下部に表示される位置を固定表示位置とする。

(1) 薬剤コードフィールド

検索条件の薬剤コードを入力する。

入力された薬剤コードで、総合薬剤マスタの医薬品コードフィールドに該当するレコードを検索する。

入力されたキーワードで後方一致検索を行う。

(2) 薬剤名称フィールド

検索条件の薬剤名称、又はフリガナを入力する。

入力された薬剤名称で、総合薬剤マスタの薬品名称(漢字)フィールド、又は薬品名称カナフィールドに該当するレコードを検索する。

入力されたキーワードで前後方一致検索を行う。

(3) 登録時の有効期間開始日

登録時の有効期間開始日を入力する。

組込登録時、薬剤マスタの有効期間開始日に入力された値が登録される。

(有効期間終了日は 2099/12/31 固定)

初期表示はサーバ日付とする。

(4) 総合薬剤一覧スプレッド

このスプレッドは読み取り専用で複数行選択モードとし、展開された検索結果(検索条件に該当する総合薬剤情報)を表示する。

各行は次の色で表示する。

①薬剤マスタ未登録は白

②薬剤マスタ登録済みは緑

③未登録薬剤で選択した行は赤

④本画面表示時に組込登録された行は黄色で表示する。

検索結果の中の薬剤マスタ登録済件数、選択した行の件数をスプレッド上部にラベルで表示する。

(5) 薬剤コードフィールド

総合薬剤一覧スプレッドの表示列とする。検索条件に該当する総合薬剤マスタの医薬品コードフィールドを表示する。

(6) 薬剤名称フィールド

総合薬剤一覧スプレッドの表示列とする。

検索条件に該当する総合薬剤マスタの薬品名称(漢字)フィールドを表示する。

(7) 薬剤名称カナフィールド

総合薬剤一覧スプレッドの表示列とする。

検索条件に該当する総合薬剤マスタの薬品名称カナフィールドを表示する。

(8) 単位フィールド

総合薬剤一覧スプレッドの表示列とする。

検索条件に該当する総合薬剤マスタの単位フィールドを表示する。

(9) 厚生省コードフィールド

総合薬剤一覧スプレッドの表示列とする。

検索条件に該当する総合薬剤マスタの薬価基準コードフィールドを表示する。

(10) ステータスフィールド

総合薬剤一覧スプレッドの表示列とする。

検索条件に該当する総合薬剤マスタから、ステータスにより以下の文字列を赤字で表示する。

①有効無効フラグ=(2:経過措置品)で、本日が経過措置年月日を過ぎている場合、「経過措置オーバー」を表示

②有効無効フラグ=(2:経過措置品)で、本日が有効無効年月日を過ぎている場合、「薬価削除」を表示

(11) 検索ボタン

検索条件をもとに総合薬剤マスタを検索する。

該当データが存在する場合は総合薬剤一覧スプレッドに展開する。

該当データが存在しない場合はメッセージを表示する。

検索時、各検索項目間は AND 検索とし、絞り込み検索が出来るようにする。

(12) クリアボタン

検索条件、総合薬剤一覧スプレッドをクリアし、初期状態に戻す。

(13) 選択ボタン

選択中の薬剤（複数可）を選択状態（赤）の行にする。

既に選択状態の行は未使用状態（白）に戻す。

※薬剤マスタに登録済みの薬剤は選択不可

※選択件数の上限は 1000 件まで

選択件数をスプレッド上部のラベルに表示する。

(14) 登録ボタン

薬剤の選択後に、薬剤の組込登録処理を行う。

(15) 閉じるボタン

薬剤マスタ画面を閉じる。

【ドクター側管理システムの各画面について：外部マスタ組込画面】

指定ファイルから外部提供マスタを取り込み、本システムのDBに登録する為の画面を提供する。

操作は病名/医薬品の指定ファイルを検索ボタンにより指定し、開始ボタンクリックにより、病名/医薬品の取り込み処理を開始する。

(画面サンプル)

『データ画面出力方法仕様について』

ファイル指定欄、処理の経過状況欄をクリアした状態で表示する。

新規病名(修飾語)の有効期間開始日はサーバ日付を初期表示する。

初期フォーカスは病名基本ファイル欄とする。

画面サイズは固定とし、サイズ変更は不可とする。

初期表示位置は、メニュー画面の下部に表示される位置を固定表示位置とする。

取り込み処理中、処理の経過状況欄に取り込み処理の経過が表示される。

又、クリア/中止ボタンクリックにより、取り込み処理を中止することが出来る。

取り込み処理中止後、クリア/中止ボタンクリックにより、処理の経過状況欄をクリアすることが出来る。

(1) 参照ボタン

病名基本ファイルを指定する為のファイル選択ダイアログを表示する。

MEDIS-DC からダウンロードした病名基本ファイル (例：nmain264.txt 等)

を指定する。

(2) 修飾語ファイルフィールド

検索ボタンにより指定した修飾語ファイルのフルパスとファイル名を表示する。

(3) 参照ボタン

修飾語ファイルを指定する為のファイル選択ダイアログを表示する。

MEDIS-DC からダウンロードした修飾語ファイル (例 : mdfy264.txt 等) を指定する。

(4) 新規病名 (修飾語) の有効期間開始日フィールド

新規病名の有効期間開始日を指定する。初期表示時はサーバ日付とする。

取り込み時の有効期間は以下のように設定する。

(5) 新規

病名/修飾語マスタに新規で登録し、有効期間開始日は本フィールドで指定された日付とし、有効期間終了日は最大日付(2099/12/31)を設定する。

(6) 既存

既存病名(修飾語)と取込病名(修飾語)の情報に変更点がある場合、既存病名(修飾語)の有効期間は本日付で終了とし、取込病名(修飾語)の有効期間開始日を新たに翌日付で登録し、有効期間終了日は最大日付(2099/12/31)を設定する。

(7) 開始ボタン

病名基本/修飾語ファイルの取り込み処理を開始し、病名/修飾語マスタへ登録する。処理の経過状況を処理の経過状況フィールド、進捗バー、処理件数に表示する。

病名/修飾語の取り込み処理には、追加修正モードとする。

(8) DIYAKU.CSV フィールド

検索ボタンにより指定した医薬品更新 CSV ファイルのフルパスとファイル名を表示する。

(9) 参照ボタン

医薬品更新 BAT ファイルを指定する為のファイル選択ダイアログを表示する。

医薬品更新 CSV ファイル (DIYAKU.CSV) を指定する。

(10) 開始ボタン

医薬品更新 CSV ファイルを参照し、総合薬剤マスタへ登録する。

処理の経過状況を処理の経過状況フィールドと、進捗バー、処理件数に表示する。

入れ替え処理となる為、総合薬剤マスタの該当医療機関コードの全レコードは削除される。

(11) 処理の経過状況フィールド

取り込み処理時、経過状況のログを表示する。

処理の経過状況は本フィールドの下に進捗バー、処理件数でも表示する。

(12) クリア/中止ボタン

通常時 : 処理の経過状況フィールドをクリアする

取込処理時 : 取り込み処理を中止する

【ドクター側管理システムの各画面について：分析用データ出力画面】

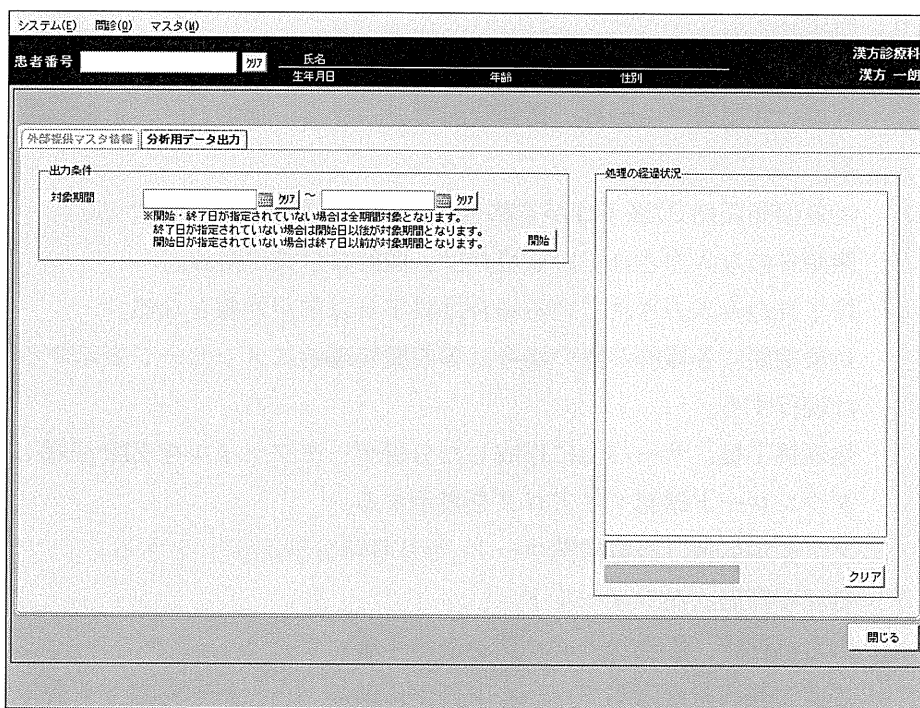
対象期間の間診履歴/漢方病名履歴/病名履歴/薬剤履歴データの分析用ファイルを出力する為の画面を提供する。

対象期間を、出力先フォルダを指定し、開始ボタンクリックにより、分析用データ出力処理を開始する。

出力処理中、処理の経過状況欄に出力処理の経過が表示される。又、クリア/中止ボタンクリックにより、出力処理を中止することが出来る。

出力処理中止後、クリア/中止ボタンクリックにより、処理の経過状況欄をクリアすることが出来る。

(画面サンプル)



『データ画面出力方法仕様について』

対象期間、出力先フォルダ、処理の経過状況欄をクリアした状態で表示する。

初期フォーカスは対象期間開始日欄とする。

画面サイズは固定とし、サイズ変更は不可とする。

初期表示位置は、メニュー画面の下部に表示される位置を固定表示位置とする。

(1) 対象期間開始日フィールド

データ出力対象の開始日を入力する。

省略した場合、対象期間終了日も省略すると、全期間対象

(2) クリアボタン

対象期間開始日をクリアする。

(3) 対象期間終了日フィールド

データ出力対象の開始日を入力する。

(4) クリアボタン

対象期間終了日をクリアする。

(5) 出力先フィールド

分析用データファイル出力フォルダを入力する。

(6) 開始ボタン

分析用データ出力処理を開始し、サーバ上に分析データファイルを出力する。
処理の経過状況を処理の経過状況フィールド、進捗バー、処理件数に表示する。

対象期間開始日/終了日が省略された場合、全期間対象とする。

開始日のみ入力されている場合は、開始日以後が対象。

終了日のみ入力されている場合は終了日以前が対象となる。

対象期間に各履歴が無い場合は各履歴処理時にメッセージ表示するが、処理は続行する。

処理終了後、サーバ上に作成した分析データファイルを ZIP 圧縮し、
ダウンロード確認ダイアログを表示する。

ファイル名は「医療機関コード_年月日時分秒.zip」とする。

(7) 処理の経過状況フィールド

出力処理時、経過状況のログを表示する。

処理の経過状況は本フィールドの下に進捗バー、処理件数でも表示する。

(8) 処理の経過状況フィールド

出力処理時、経過状況のログを表示する。

処理の経過状況は本フィールドの下に進捗バー、処理件数でも表示する。

【ドクター側管理システムの各画面について：VAS項目グラフ印刷】

問診管理のVAS項目グラフ表示画面、タッチパネルのVAS項目グラフ画面より、出力ボタン押下することにより、本帳票を印刷する。

画面上部には、対象日付範囲のVASグラフを印字。対象問診日付は赤字で印字する。

画面下部には、対象問診日付と問診内容を印字する。

『データ出力方法仕様について』

問診管理のVASグラフ表示画面、タッチパネルのVAS項目グラフ画面より、「出力」ボタン押下により呼び出される。

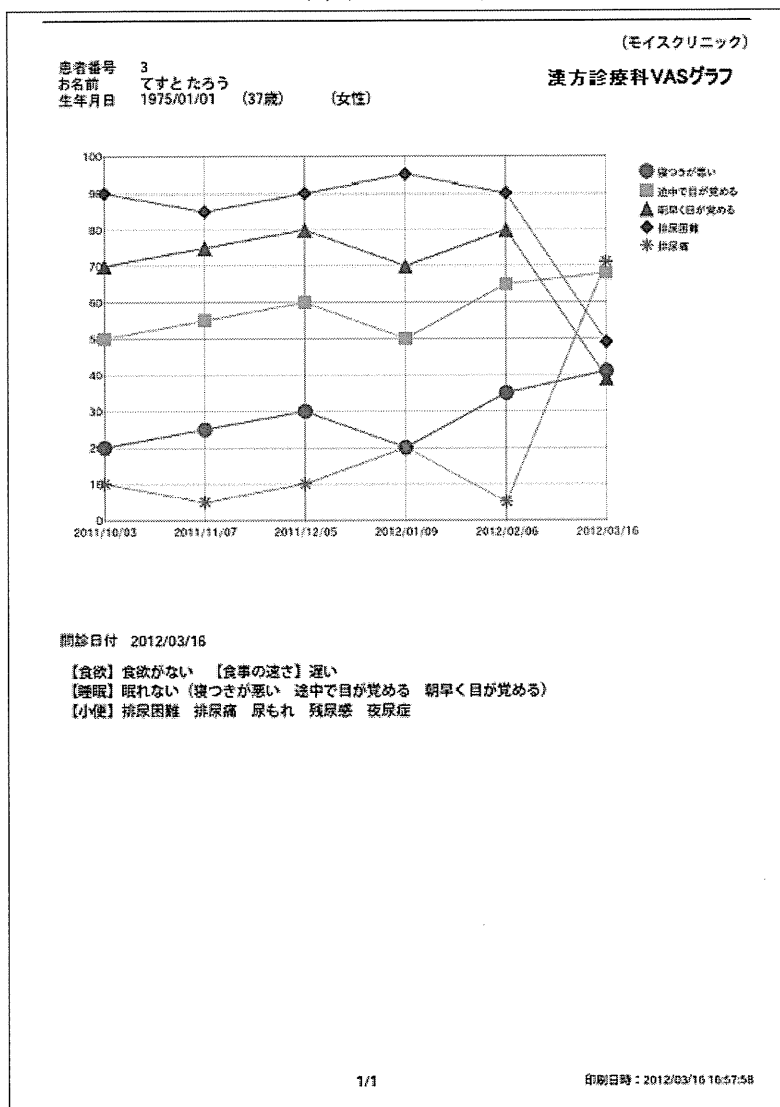
問診内容部分が1ページの最大行数を超えた時点で改ページとする。

各ページには以下の情報を固定印字する。

ヘッダ部： 医療機関名、出力日付、患者番号、患者名、性別、
生年月日、年齢、VASグラフ

詳細部： 問診日付、問診内容

(印刷サンプル)



【医療機関毎の設定について】

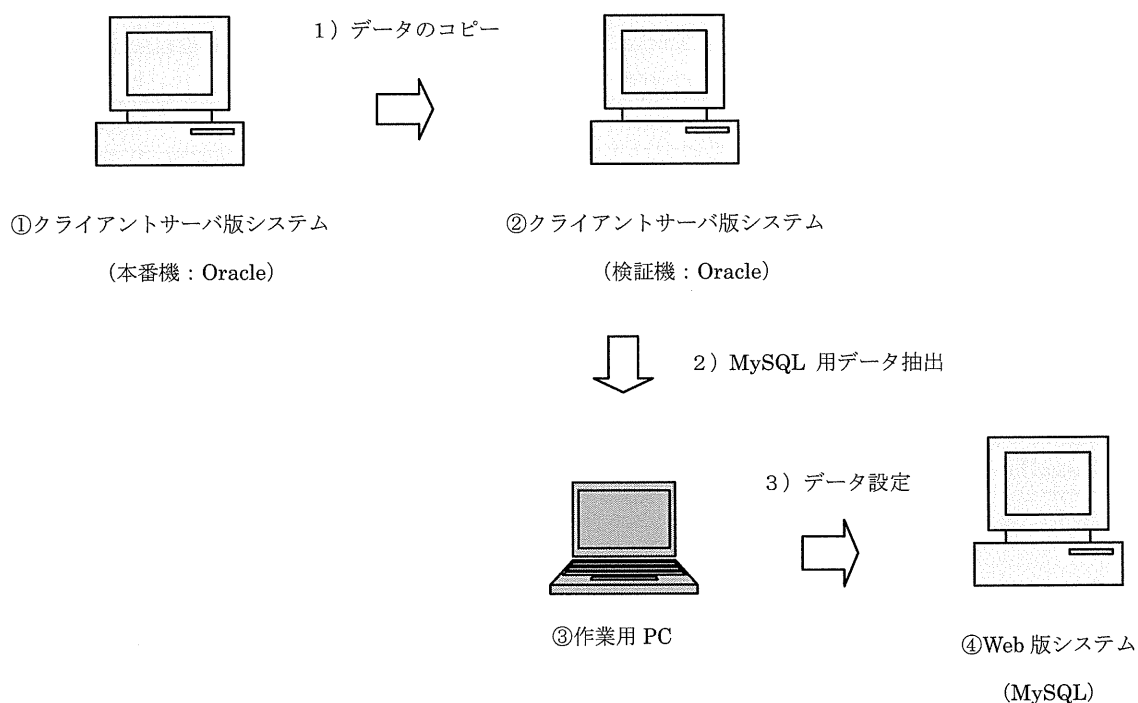
本システムでは、複数の医療機関毎のデータを管理するため、データベース中に医療機関コードまたは医療機関名を持つデータが存在する。医療機関の追加や変更が発生した場合、下記の各テーブルにある列の値に対応する医療機関コードまたは医療機関名し統合化に対応を可能とする。

テーブル名	列名	条件	設定値
Master_Byomei	str_IryokikanCode	なし	医療機関コード
Master_KampoByomei	str_IryokikanCode	なし	医療機関コード
Master_KampoByomeiLv1	str_IryokikanCode	なし	医療機関コード
Master_KampoByomeiLv2	str_IryokikanCode	なし	医療機関コード
Master_KampoByomeiScoreMei	str_IryokikanCode	なし	医療機関コード
Master_Mdfy	str_IryokikanCode	なし	医療機関コード
Master_VitalMei	str_IryokikanCode	なし	医療機関コード
Master_Yakuzai	str_IryokikanCode	なし	医療機関コード
Master_YakuzaiTani	str_IryokikanCode	なし	医療機関コード
Master_EnvSetting	str_Value	str_TermId=DOC001	医療機関コード
	str_Value	str_TermId= IPAD001	医療機関コード
	str_Value	str_TermId= IPAD002	医療機関コード
	str_Value	str_TermId= TRM01	医療機関コード
	str_Value	str_TermId= AUTH_IRYOUKIKANMEI	医療機関名

【クライアントサーバ版システムから Web 版システムへのデータ移行作業について】

既存のクライアントサーバ版システムはデータベースに Oracle を、Web 版システムでは MySQL を使用する。そのため、クライアントサーバ版システムのデータを Web 版システムで使用する場合はデータ移行作業が発生する。

(作業環境)



作業は、上図に示した環境下で行う。

1) データのコピー

①クライアントサーバ版システム (本番機 : Oracle) から Oracle の全データのバックアップをとり、外部記憶媒体へ保存する。

保存したデータを②クライアントサーバ版システム (検証機 : Oracle) にコピーし Oracle へアップロードする。

2) MySQL 用データ抽出

②クライアントサーバ版システム (検証機 : Oracle) で MySQL 用データ抽出スクリプトを実行し、MySQL 用データを作成する。この際、NULL 値が空白として出力されるため、NULL 値を文字列 null としてデータを作成する。作成した MySQL 用データを外部記憶媒体へ保存し、③作業用 PC へコピーする。

3) データ設定

③作業用 PC で Oracle と MySQL で使用する文字コードが異なる場合、文字コードの変換を行う。文字コード変換後のファイルを外部記憶媒体へ保存し、④Web 版システムへコピーする。④Web 版システム (MySQL) で、データ設定用スクリプトを実行する。また NULL 値を復元するため、文字列 null を NULL へ変換するためのスクリプトを実行する。

(MySQL 用データ抽出スクリプト sqlplus)

```
sqlplus [ユーザ名]/[パスワード]
```

```
@"[スクリプトが保存されているフォルダ名]¥oracleCSV_sqlplus.txt"
```

(MySQL 用データ抽出スクリプト oracleCSV_sqlplus.txt)

*データ保存先を「c:¥monsin_data」とした場合

```
set heading off
set feedback off
set trimspool on
set termout off
set echo off
set pages 0
set linesize 9999
```

```
spool c:¥monsin_data¥Master_SystemWord.csv
```

```
select
```

```
"" || NVL(str_WordGroupCode, 'null') || "" ||
```

～ 中略 ～

```
"" || day_Update || ""
```

```
from
```

```
Master_SystemWord;
```

```
spool off
```



```
spool c:\¥monsin_data¥Master_Iryokikan.csv
```

```
select
```

```
"" || NVL(str_IryokikanCode, 'null') || ""'; ||
```

```
~ 中略 ~
```

```
"" || day_Update || ""
```

```
from
```

```
Master_Iryokikan;
```

```
spool off
```

```
spool c:\¥monsin_data¥Master_Busho.csv
```

```
select
```

```
"" || NVL(str_IryokikanCode, 'null') || ""'; ||
```

```
~ 中略 ~
```

```
"" || day_Update || ""
```

```
from
```

```
Master_Busho;
```

```
spool off
```

```
spool c:\¥monsin_data¥Data_Busho.csv
```

```
select
```

```
"" || NVL(str_IryokikanCode, 'null') || ""'; ||
```

```
~ 中略 ~
```

```
"" || day_Update || ""
```

```
from
```

```
Data_Busho;
```

```
spool off
```

```
spool c:\¥monsin_data¥Master_Shokuin.csv
```

```
select
```

```
"" || NVL(str_IryokikanCode, 'null') || ""'; ||
```

～ 中略 ～

```
"" || day_Update || ""
```

```
from
```

```
Master_Shokuin;
```

```
spool off
```

```
spool c:\¥monsin_data¥Master_Kanja.csv
```

```
select
```

```
"" || NVL(str_IryokikanCode, 'null') || ',' ||
```

～ 中略 ～

```
"" || day_Update || ""
```

```
from
```

```
Master_Kanja;
```

```
spool off
```

```
spool c:\¥monsin_data¥Data_KanjaMonsinLv3.csv
```

```
select
```

```
"" || NVL(str_IryokikanCode, 'null') || ',' ||
```

～ 中略 ～

```
"" || day_Update || ""
```

```
from
```

```
Data_KanjaMonsinLv3;
```

```
spool off
```

```
spool c:\¥monsin_data¥Data_KanjaMonsinLv4.csv
```

```
select
```

```
"" || NVL(str_IryokikanCode, 'null') || ',' ||
```

～ 中略 ～

```
"" || day_Update || ""
```

```
from
```

```
Data_KanjaMonsinLv4;
```

```
spool off
```

```
spool c:¥monsin_data¥Data_KanjaVasGraph.csv
```

```
select
```

```
"" || NVL(str_IryokikanCode, 'null') || ',' ||
```

```
~ 中略 ~
```

```
"" || day_Update || ""
```

```
from
```

```
Data_KanjaVasGraph;
```

```
spool off
```

```
spool c:¥monsin_data¥Master_MonsinLabel.csv
```

```
select
```

```
"" || num_LayoutNo || ',' ||
```

```
~ 中略 ~
```

```
"" || day_Update || ""
```

```
from
```

```
Master_MonsinLabel;
```

```
spool off
```

```
spool c:¥monsin_data¥Data_MonsinHeader.csv
```

```
select
```

```
"" || NVL(str_IryokikanCode, 'null') || ',' ||
```

```
~ 中略 ~
```

```
"" || day_Update || ""
```

```
from
```

```
Data_MonsinHeader;
```

```
spool off
```

```
spool c:¥monsin_data¥Data_MonsinDetail.csv
```

```
select
```

```
"" || NVL(str_IryokikanCode, 'null') || ',' ||
```

```
~ 中略 ~
```

```
"" || day_Update || ""
```

```
from
```

```
Data_MonsinDetail;
```

```
spool off
```

```
spool c:¥monsin_data¥Data_KanjaMonsinDetail.csv
```

```
select
```

```
"" || NVL(str_IryokikanCode, 'null') || ',' ||
```

```
~ 中略 ~
```

```
"" || day_Update || ""
```

```
from
```

```
Data_KanjaMonsinDetail;
```

```
spool off
```

```
spool c:¥monsin_data¥Master_Byomei.csv
```

```
select
```

```
"" || NVL(str_IryokikanCode, 'null') || ',' ||
```

```
~ 中略 ~
```

```
"" || day_Update || ""
```

```
from
```

```
Master_Byomei;
```

```
spool off
```

```
spool c:¥monsin_data¥Master_Mdfy.csv
```